

[白痴をわらうか]

作品名：白痴をわらうか

応募者名：山内晶

「白痴をわらうか」

○概要・登場人物

- ・ 雛菊 女。「この世の幸せの全て」があつま
- ・ 百合 女。パーティーに招待された
- ・ 雛菊が好き。

○概要・あらすじ

「この世の幸せの全て」があつまるパーティーが
 雛菊は百合と、パーティーの準備完了を待っている。
 準備完了は電話で知らされるらしい。
 パーティーの内容は知らない、なにが待つのだろう
 と二人ははしゃぐ。沈黙をつなぐ。朝昼夜・朝昼
 夜。電話はこくない。待たされている。意味のある
 言葉を喋りたくない。待たされている。意味のある
 言葉。電話の声は雛菊には聞こえず、百合にだけ聞こえ
 た。再び待つ。雛菊は「ここでパーティーをしよう」
 と百合に持ちかける。二人はニセモノのパルティ
 を始める。雛菊は「朝昼夜・朝昼夜」
 つ。雛菊は本物のパーティーを最後まで待っていた。

○概要・解説

「この世の幸せの全て」があつまるパーティーが
 雛菊は百合と、パーティーの準備完了を待っている。
 準備完了は電話で知らされるらしい。
 パーティーの内容は知らない、なにが待つのだろう
 と二人ははしゃぐ。沈黙をつなぐ。朝昼夜・朝昼
 夜。電話はこくない。待たされている。意味のある
 言葉を喋りたくない。待たされている。意味のある
 言葉。電話の声は雛菊には聞こえず、百合にだけ聞こえ
 た。再び待つ。雛菊は「ここでパーティーをしよう」
 と百合に持ちかける。二人はニセモノのパルティ
 を始める。雛菊は「朝昼夜・朝昼夜」
 つ。雛菊は本物のパーティーを最後まで待っていた。

「白痴をわらうか」

多幸感

会話の最中に、何度も夜が来て朝が来る。

「括弧の中は、言わなかった言葉」

◆のときに揃って笑わないといけない

1

パーティーへの出発前の時間

屋内なのか屋外なのかわからない、女が好き
そんな装飾に囲まれた場所

黒電話が一つ置いてある（リダイヤル機能の
ない電話ならばなんでも良い）

百合が無言で電話の前に座っている。

雛菊歌い踊っている。

夜になった。

雛菊　　んねえ◆もう夜だよ◆

百合　　ん？

雛菊　　どーしてそこでじっとしてるの？◆

百合 え？電話がくるんでしょ？

雛菊 え、そうだったけ？◆

百合 あれ？電話！かかってくんじやなかった

たっけ？え、決めたよね？

雛菊 あ。そーや。そーね。

百合 え。どうだったけ？そうだよね？そうだと

思う◆

雛菊 じゃあそれはそう！で、それより？

百合 はあ◆

雛菊 どうやってもってく？

百合 なんかもってくの？◆

雛菊 あれとあれとあれとあれ。全部持ってく

の◆（指差ししながら）

百合 なんで？重くない？

雛菊 なんとなく、持ってくといいかなくて思

う◆

百合 よくわかんないけど◆

笑い合う二人。突然雛菊が止まる。

[白痴をわらうか]

雛菊 ……ねえ……!?

百合 なに

雛菊 この服、本当に私の好きな服?

百合 かわいい。かわいい。

雛菊 もっと……こうもっと……これであって

るのかな?なんか、不安。

百合 狙いすぎてても良くないよ? ◆

雛菊 そーかしら。……そうかしらららら ◆(ら

ららで軽く踊る)

百合 君。かわいいから ◆服なんてなんだって

いいじゃん ◆

雛菊 ね!なんかしない?

百合 ん?

雛菊 さつきからじつとして。退屈じゃろ?

百合 ……え?そりゃ、退屈だけど……。待つ

ってそういうものじゃないか。

雛菊 そりゃそうだけどさ

百合 あとで楽しいんだから

雛菊 そりゃそーだ、けどさ

百合 退屈って言うと、そうなっていく。

雛菊 ……そー。

百合 なに

雛菊 私もそう思う。……そー思う◆

百合 はい

雛菊 私。言葉は魔術だと思った◆

百合 はあ？

雛菊 飛んだ◆……つていうと、体は飛んでな

いけど私は飛べるわ◆

百合 はあ

雛菊 頭の中に、魔法をかける力

百合 ……わかんない◆

雛菊 わかんないの◆自分で言ったのに◆

百合 別の話して

雛菊 ……情熱大陸に出るような存在になりた

い◆とか。そういう願望って誰しもある

と◆(思うんだけど)

百合 ないなあ◆

雛菊 ない人もいるんだねえ◆ハイハイじゃ

ーそれはそれ◆うーん。突然、超能力◆

が目覚めたらどうする◆

百合 なんのはなししてんの？◆

雛菊 超能力だつーの。……ギャッ◆

百合 ん？

雛菊 いま◆空間に漂う死者の潜在意識に働
きかけました◆整いました◆ああ。通常
の十倍の感受性を手に入れたから、どん
な歌を歌っても人を泣かせてしまう、そ
んな◆

百合 うた？

雛菊 あ、歌うまいんじゃないっけ？

百合 歌？◆すきだけど

雛菊 じゃあ、友達が半魚人だったらいいなと
か◆

百合 ない！

雛菊 そこはあるって言って

百合 半魚人の友達いらない◆

雛菊 じゃあ……◆このへんに秘密のボタン
を隠した。さてどこだ◆

百合 秘密のボタンを押すと隠し部屋？◆

雛菊 隠し部屋なんてねーし◆

百合 願い事はなにを願うことにするの？

雛菊 願い事って？

百合 ん？そんなこと言ってなかった？ビン

ゴ。勝つと願い事。なんでも叶う。

雛菊 そんなの信じる人いるんだね？

百合 そんなわけじゃないのだけど

雛菊 私は願い事◆叶えて貰うためにパーテ

ィに行くんじゃないし◆

百合 ……冗談で言ってるよ、私。軽い冗談。

いま◆

雛菊 余計なことは、考えないようにしてる◆

余計な事が欲をチラつかないようにつて

思ってる

百合 かつくいー◆

雛菊 ところで、ドレスのおしゃれは引き算だ

と思わない？◆

百合 かつくいー◆おしゃれのことはよくわ

からんけど

雛菊 じゃあフルーツパフェ◆って言われて最

初に思い浮かべるもの。どんなもの？

百合 わかんない◆

雛菊 わかんない禁止◆考えて。

百合 えー考えるってなに?? なぞなぞじゃ

ないの?◆

雛菊 よくわかんないけど、そう◆

百合 んーフルーツパフェって言ってもさ、ラ

ズベリーのフルーツパフェ◆とパイナツ

プルのフルーツパフェ◆と洋梨のフルー

ツパフェとじゃ全然ノリが違うじゃない

のな…◆

百合が喋り悩んでいると雛菊近づいてく

キスでもしそうな距離

百合 なーに◆

雛菊 いや、そういえば今日はハグ◆してない

百合 ハグは、今日も昨日もしてないし

雛菊 ハグしないと◆目の前の相手が亡霊だ

と困る◆

百合 亡霊じゃないー◆ほらほら違う◆

[白痴をわらうか]

雛菊 まだわかんないじゃん ◆

百合 ハグは大事なときだけでいいの ◆あなた

メキシコ人？ ◆

雛菊 ハグっていつすんの？ いままでしょ！

百合 こう。。。近いな！ だから、ハグ無理。

肌の触れ合い苦手

雛菊 かーらーの？

百合 私はもっと大事にして ◆（るんです）

雛菊にハグされて百合照れる

百合 あーん。もう。やだっば ◆

雛菊 嫌がってるのかわいい ◆

百合 ……もうやめていい？ ◆

雛菊、百合の体のこわばり具合に笑う

百合 やめてー ◆

雛菊 今日も会えてよかった。友よ ◆

百合 ……うん

雛菊 背中をピアノにして遊ぼつと ◆ドレミ

ファソラシド

百合 やめて ◆

雛菊 エリーゼのために ◆

百合 背中くすぐつたい ◆

百合は雛菊を日本人的に引き剥がす

雛菊 どうして? ◆

百合 えーなんかあ。照れるのー ◆距離が近すぎると、嬉しいが多すぎて ◆やでしょ?

ほらー ◆ ◆

雛菊 なんの話してたんだっけ?

百合 んー。(電話が来ない) ああ。遅いね

雛菊 読者モデル ◆きらい?

百合 えー? モデルによるよ。それは ◆

雛菊 いいからー ◆

百合 えーだって。ほんとに。もー多すぎてわ

かんなくなっちゃってるもん

雛菊 もっとこう、面白いこと言って。モデル

百合

くたばれとかそういう、妬みを混ぜて◆

あー……。妬み。妬み？◆

じゃあ。まあ。

私、読者モデル◆まつげバサバサ◆ピン
クのチークはマカロンくらいの大きさ
で高めの位置にポポポポ◆読者の参
考に◆なるためにスタイルが良すぎな
いようにしてる◆カバンの中身を雑誌
に晒されても嫌な顔はしない◆くっそ
甘い香水◆をつけるのはもう嫌だ。グリ
ーンスムージーの粉末◆マクロビ◆ボ
タニカル◆酵素ドリンク◆ファステイ
ングダイエット◆ファストファッショ
ン◆前の顔と似た顔にフルフェイス整
形◆

雛菊

はいはいはい。

百合

「未来のことは考えてない」◆「フェイ
スブックは老人ばかりだからもうやら
ない」◆マイノリティのように聞こえる、
めちやくちやマジョリテイ◆な事を裏で

言うよ。「インスタグラムにスッピン」は
たいてい画像の加工が化粧よりもえげつ
ない◆スズメの涙程度のイイネ◆をかす
めとる生活しか送れない◆
読者モデル嫌いなんだね

百合 うん。嫌い◆◆◆

雛菊 加藤ミリヤ◆

百合 だれそれ？

雛菊 ふるいひと？すごい良いなって言う友
達がいたの

百合 へー？

雛菊 頭悪すぎて逆に共感するんだって◆加

藤ミリヤが好きだったの、友達はね？

◆AItai◆WHY◆ラストラブ◆案外わか
るゝってバカにしてて◆でも。消えてし
まった。ミリヤ。幽霊船みたい。

百合 物語仕立てにしてみても◆

雛菊 はあ？◆

百合 ひまつぶし◆

雛菊 そんなん無理◆

百合 やって◆やって◆やって◆やって◆

雛菊 ……私の名前は、加藤ミリヤ◆大昔のテイーンの神様◆ここにいます。……ここはどこだと思う？

百合 おー？◆どこだ

雛菊 ヒントを出すわ◆いま私の周りには二人の神がいる感じだわ。ここ(右)。カナ◆唇ふるふる。こっち(左)。ジュジュ◆唇ふるふる◆ここにはマイク。ベトベト◆はい。そこは音楽業界◆

雛菊 ポンピン◆

百合 ポン◆ピン◆

雛菊 ああ！カナとジュジュと私◆それぞれがいろんな場面で、ここから◆このブースから、女の子の背中◆を押してきた……うんうん。

雛菊 音楽業界に、冬がやってきた◆寒い。指がかじかむ。

……レベルの偉い人にかけられた言葉が耳から取れない◆彼らは繰り返し囁く。

「売れる、売れ◆なぜこの曲のセールスは落ちた。オタクのアニメソングに負けるな◆」そして私たち、少しずつ、狂っていった◆私、中島みゆきと長渕剛の音楽性に向かっていってる◆ジュジュ。ジャズやら謎のダンスナンバー◆の方角に歩いて、おじさんを取り込もうとしてる。カナは自分の道を走って行った◆自分のトリセツを売りはじめた◆「西◆野カナ◆って最近◆同じような◆歌ばっかり歌ってるよね」◆「という、残酷な言葉を浴びている◆ハタ、と気付いたの。私はもう神様にはなってあげられない◆って。私たちはもうユーチューバーにさえ勝てないの◆

雛菊はドヤ顔をする。

百合 ……おわり? ◆

雛菊 え? うん。まあ、(うん) ◆

[白痴をわらうか]

百合 だからなに？ ◆

雛菊 メッセージばっか追いかけるとバカになるからマジで。

百合 深い ◆

雛菊 いや浅いよ？ ◆

百合 ふーん ◆

雛菊 どーでえ。物語にしたぞ ◆

百合 総括しますと…：神様が増えました。最近。うん ◆ 増えましたね。ロマンス。エント ◆ 対応。曲。トイレ ◆ どんだけ宿るの神、って思ってた ◆ …… ってまた近い んですけど ◆

雛菊 がまた近づいてきていた。

雛菊 だって面白い ◆ 反応 ◆

百合 遊ぶな ◆

雛菊 いいでしょ？

百合 なにが？ ◆

雛菊 夜が暗いと。こわいの。

[白痴をわらうか]

百合 けど、まあ、電気ついてるかたさ
雛菊 どっか遠くにいこうか？◆
百合 えー？
雛菊 なに？
百合 ここの前にいないと。
雛菊 どうして？
百合 この電話。3コール以内で出ないとじゃ
ん◆
雛菊 ……そう言ったの？◆
百合 え？言ってなかったっけ？3コール以内
に出ない人は置いていきます。って。
雛菊 いつそう言ったの？◆
百合 一緒に聞いてたよ？◆
雛菊 電話番号は？聞いた？かけ直せない
の？
百合 え。聞いてないよね？
雛菊 そっか。んー。
百合 んー？
雛菊 なんで待ってるんだっけ◆
百合 いまさら？

[白痴をわらうか]

雛菊 これ、気づかないうちに、3コール鳴つたのかのかもしれない

百合 なになに。どした？◆

雛菊 ……あ。空気読むわ。ごめん

百合 大丈夫？

雛菊 ちがう。ちがう。ちがう。ちがう。

百合 なに？どうした？

雛菊 ん？

百合 ごめんアホだから、なにがダメなのか。うまく。わかんない。

雛菊 そうかな

百合 わかんない。けど…ねえ。

雛菊 なんか。

百合 うん

雛菊 ここで。物欲しげにこうやってずーっと待ってるのって、縛られてるみたいで嫌だ。でも、こうやって待ってしまったって犬かなにかみたい。悲しくなる。

百合 ……もう来ると思うけど

雛菊 うん。

百合 そしたら、さっきまでなに言ってたんだ

ろゝって。けろっと

雛菊 うん。

百合 どんなことしたい？

雛菊 ……どんなことって？

百合 わかんないけど。パーティ。どんなんだ

ろ？

雛菊 きゅんきゅん◆することがいっぱい

百合 ありがち！難易度高い◆

雛菊 そーかな？◆

百合 きゅんきゅんは。まじでむずいやん

雛菊 えー？私、結構大丈夫だよ◆例えばさ、

んー。

立食パーティ◆だとしてね。

百合 うんうん

雛菊 んー…。ん◆みんなが大騒ぎしてるな

かでね、かつこいい人がね。さりげなく

隣にきたぞ◆って思ったたら、小指を絡め

てくる◆

百合 ……えー？

雛菊 え？◆

百合 きもくない？◆

雛菊 え。ばかね◆ちよつと立って。で。手を
こーやって出して◆（手の甲を空にかざ
すように出す）

百合 こう？◆

雛菊 そおそお◆

雛菊は百合の隣にズイズイとやってき
て、小指を絡める◆

百合 うーん。◆

雛菊 え。イケメン。急な出来事。喧騒が目の
前にある。どう？◆

百合 まあ。きゅんきゅん◆しないこともない。
の。かな？◆

雛菊 する◆して◆するようには訓練して。

百合 こうじゃだめなん？

百合はぎゅっと雛菊の手をつなぐ

雛菊 あ違う。あ分かってない◆

百合 むっず◆

雛菊 あとはね。あとはね◆うーん

雛菊は座り込んで考え込む

百合 ととのいました？◆

雛菊 あ◆あとはねケーキ◆を食べててさ

百合 物語仕立てにしてみても◆

雛菊 ……物語仕立てってなんなん？まじで

◆

百合 じゃあなんでもいいけど、なんか◆

雛菊 ー。

雛菊は百合の顔についたクリームをとろうと
触る。

雛菊 ケーキのクリームついてんやん◆

百合 なんで関西弁？◆

[白痴をわらうか]

雛菊 関西弁がキュンキュン◆するから◆や

な◆

百合 そすか

雛菊 あれー？全然クリーム◆取れへん

百合 おいばか◆そんな何回も◆こすつて取れないクリーム◆なんてあるわけないから◆

雛菊 あ。あー◆これクリームちゃうわー。こ

ういう顔やん…◆

百合 これはどんなことなの？◆

雛菊 これは◆顔についたクリームをぬぐ

つてくれるくらい私に親しみを感じて

くれてる+◆プラスクリームを取るために私

の顔をいつもよりよく見ててハラハラや

◆ないかーい◆にキュンキュンや◆ーん

な…

百合 ピンと来なさすぎて……ん？

雛菊 ……。

百合 ……んー？

雛菊 やさしさ。ありがとう。

[白痴をわらうか]

百合 たのしみになつてきた？

雛菊 そういふのはね。感じて ◆

百合 言わないとわかんないもん ◆

雛菊 そっちも。

百合 ん？ ◆

雛菊 どんなのがいい？

百合 私ですか。私は別になにの期待も ◆

雛菊 ずる ◆

百合 うーん… ◆ あ ◆ かまくらパーティ

雛菊 ん？ かまくら？

百合 …… かまくら。

雛菊 …… かまくら？ ◆

百合 かまくらの可能性は無限 ◆

雛菊 …… ああ、いいね ◆

百合 かまくら。オーロラ。さむいねさむいね

…… つて ◆

雛菊 なんか面白くして？ ◆

百合 …… んー ◆

かまくらで凍えるポーズになって

[白痴をわらうか]

百合 綺麗、だね！

雛菊 きれい。ね！

百合 でも。さむく、ね？ ◆

雛菊 あ。うん。さむい、わ！

百合 手。寒くね？ ◆

雛菊 さむいわ

百合 あったためてあげようね…

手を取る

百合 胸キュンしませんか！

雛菊 ……え？

百合 ん？

雛菊 これだけ？

百合 え。うん

雛菊 手握っただけじゃん ◆

百合 私はあなたと違ってね、人に触れる一瞬

のきらめきを大事にしてるんです ◆

雛菊 あ。そ ◆

百合 はいまた君の番◆

雛菊 うーん。……ああはい◆とどのいました

◆

雛菊は光るおもちゃを手取る

百合 はいどうぞ

雛菊 ……んん。お集まりの皆さん◆今日は◆

1週間後に誕生日を迎える星野くん◆は

無視してー◆

百合 だれだよ

雛菊 今日のこの日を祝うさかいに◆みんなお

祝いの歌、歌^{うと}うてな。せーの◆

二人はお祝いの歌をうたう◆

歌の途中で雛菊は歌わなくなる

百合が歌い続けて完了する

百合 どした？

雛菊 どうしちやっただらう

百合 ◆なにをそんなに心配するの？

雛菊 パーティにね。

百合 うん。

雛菊 チョコレートがあるといいな。

百合 うん

雛菊 ハート型のプールがあるといいな。

百合 うん

雛菊 ジャスティンビーバーがいたらびっく

り◆

百合 えー？

雛菊 ユニコーンのぬいぐるみがあるといい

な。

百合 うん

雛菊 キャンデイの山が。天王星と海王星と

冥王星があるといいな

百合 うん

雛菊 好きな人ができるといい

百合 うん

雛菊 10年後にも思い出したくなる時間が

もうすぐやってくる

百合 ……。

雛菊 空中庭園。パリの街並み。モンサンミッシェルの夕焼け。マイアミのネオン

百合 ……ゼーんぶあるなんて嘘みたいに見えるんでしょう？

雛菊 ……どれもなくていい。

百合 なくていいの？

雛菊 パーティがあるだけでいい

百合 ある。

雛菊 ……こうやって重くなっちゃうのって

◆きもいよね◆

電話が鳴る。電話が鳴る。電話が鳴る。

とっさに雛菊が電話を取る

雛菊 もしもし！

雛菊は電話を持ち直す

雛菊 ……もしもし？

雛菊は電話を持ち直す

雛菊
……え

雛菊は電話を持ち直す

雛菊
……えっと。何も聞こえないん

百合
え？

百合と雛菊は受話器に耳を当てる

百合
……え？なんか言ってるんじゃない？

雛菊
え

百合は電話を持つ

百合
（電話の相手に）あ。違うちあう、あたし
あたし。……ごめんもつかい言って？…
…あ！そうなんだ。おお。ほお。わあ。

…あ。わかた。おけー。じゃーうん。
じゃーはい。…はいー。あい。

百合が電話を切る

雛菊 ……。

百合 あと10分！らしい。

雛菊 ……なにが聞こえたの？

百合 ……あたしは聞こえたけど、わかんない

雛菊 ……わかんないの？

百合 ……わかる。

沈黙

雛菊 え◆ああ◆なるほど◆わーなにそれ。め
つちやかかわいい◆

百合 え◆

雛菊 これ。ドッキリ？◆サプライズ？◆

百合 え？

雛菊 パーティあるよ的な、ドッキリ？◆

百合 そんなわけなくない？ ◆

雛菊 えー。ほんとにー？

百合 だって。言ってたじゃん？いまは待ってーって言った ◆シャンデリアも七面鳥も全部、ドンキで買ってくるって ◆言つてたじゃん？

雛菊 いつ言った？それ

百合 一緒にいたとき ◆そう言ってたよ。

雛菊 でもいまじゃないやーん？

百合 信じてれば来るから ◆

雛菊 私にはそんな風にもう思えないの。

百合 なに急に ◆いまそんなに深く考えるよ
うなことがどこにあるの？

雛菊 じゃあ。どうして私だけわかってないの？

百合 それは、逆に、どうして？って聞きたいくらいで

雛菊 じゃあ ◆

百合 わかんないけど ◆でもまだそんな必死になる時間じゃない ◆

雛菊 ああ

百合 え？

雛菊 ◆楽しくないからこういうことがよぎ
るの？

百合 楽しくないの？

雛菊 いま、好きな事に溢れてるはずなのに、
埋まらないこれを、埋めたい◆

百合 どういう意味？◆

雛菊 いま、瀬戸際だ。私、この時間を嫌な思
い出にしたくない。不安

百合 ……不安を感じる必要がない？お迎え。
もう直ぐ来るって。

雛菊 いつ？

百合 電話きてから。くる。電話は10分後。
らしい

雛菊 さつき言ってた、シャンデリアも七面
鳥も全部ドンキで買ってくるって。それ

はいつ言ったの？◆

百合 え。言ってたじゃん？言ってたよ？つい
さつき……の少し前？

雛菊　でも今じゃない◆今じゃなくてここに
ないなら、それはもうないかもしれない
の。わかんないかな。
百合　…ああ◆
雛菊　いま、まじで無理。私が好きな量と同じ
に人が私のこと好きじゃないのが嫌だ。
私の大事にしてることを軽く扱う人が嫌
だ
百合　…ああ◆
雛菊　…。
百合　…。
雛菊　…あー…。ごめんだ◆◆いつもあた
しがこうする…◆
百合　…。
雛菊　ねえ。なんか言っていて◆ね◆
百合　ごめん◆…なんかね。
雛菊　うん。
百合　…：そうだな。うん。落ち込んじゃった
りすると。なんか。自分から明るくふる
まう、とかが怖くなってしまつて。だか

[白痴をわらうか]

らいつもこうなって

雛菊 ……それは、さ

百合 うん

雛菊 こういう状況になったときに◆こっち

に明るい話をし続けろって言う意味だ

ね？

百合 ……そんなつもりはなくて◆

雛菊 ああ。ちがう、ごめん

百合 ……◆

雛菊 ◆あ(暗いこと考えるの)やめた！

百合 ……(待つことを)やめるの？

雛菊 は？(待つことは)やめない。死んでもや

めない◆

百合 じゃあ、なにを◆

雛菊 私はもう、待っためにここにいるの

はやめる◆私は、ここにいたくてここに

いる。ことにした◆

百合 でも。

雛菊 ここでしようか

百合 ん？

[白痴をわらうか]

雛菊 パーティ

百合 ……。

雛菊 きこえて？

百合 うん。……うん。……うん！

雛菊 んー？

百合 レッツパーティー◆

雛菊 イエスレッツ◆

百合 うん◆

雛菊 ん？

百合 私。あなたの楽しいになる◆

雛菊 ……んー。

百合 ……目が合わないけど！◆

雛菊 どうだろね◆

百合 楽しいを私が運ぶ◆

雛菊 君は。私のことを。好きなの？◆

百合 ……だいきよ◆

雛菊 あ、そー◆

百合 あ、そ。ですか

雛菊 いま、キューンてできたらいいのに◆

百合 ……しないのかよ。いいよ。いい。

君は私を好きじゃない◆でもいいんだ。
好きじゃなくても、好きだ。ずっと。好
きって気持ちだけはここにずっとあり続
ける◆
雛菊 うわ、くさい◆

百合は雛菊を押し。

雛菊 はい？

百合 いま秘密のボタンを押した。

雛菊 ……。

百合 時を駆ける魔法を。頭に。

雛菊 ……なるほど？

百合 今のそのモヤモヤも忘れるよ！10秒

後に。朝がやってくるたびに。

雛菊 そんなわけないし。

百合 5回うなずく。

百合、雛菊、バタツと倒れる。眠る。

眠っていた二人。目を開ける。
クスクス笑い合う。

雛菊 ……へいパーティーピーポー◆

百合 ……へい◆

雛菊 ここは。海の。底◆

百合 ……んー？

雛菊 私と同じものを想像して。視界にはブル
ーのフィルターがかかっている◆イソギン
チャクがたなびく岩肌の上を、カクレク
マノミがチラチラと泳いでる◆目を上に
向けると青。赤。黄色。桃色◆色とりど
りの小さな魚がスクランブル交差点◆み
たいにすれ違い続けていて。遠くの方に
種類のわからない大きな銀の魚◆がゆっ
つっくりと泳いでる。その魚たちの祝福
の中にいるのが◆きみ◆
百合 わらし（私）？
雛菊 きみ。魚◆なう。

[白痴をわらうか]

百合 おお。あ。理解◆

雛菊 散歩しましょ◆

百合 ……散歩し。はじめた

雛菊 右になにが見える？◆

百合 んー。……トビウオと、サンゴ礁◆

雛菊 トビウオのアーチをくぐって◆

百合 ……くぐった◆

雛菊 遠くになにが見える？◆

百合 ……宝島？◆

雛菊 近寄って。近寄った？◆

百合 ち。か。よった◆

雛菊 ……宝島に。ついた。よー◆

百合 ようこそ◆

雛菊 どなた？

百合 私は人魚人◆

雛菊 あなたがすき◆

百合 え。急◆こちらへどうぞ

雛菊 あ。はい

百合 ここは宝島の、宝箱◆ここでは私のコレ

クシヨンが飾られているの◆

雛菊 わーあんな上まで宝箱なの？◆届かな

いじゃないの？

百合 泳げばいいのよ？ほーらほらほら◆

雛菊 あ。あ◆そっか◆そうね

百合 ねえこれ欲しい？20個もあるの◆

雛菊 これは

百合 あなた人間？◆

雛菊 はい

百合 人間、初めて

雛菊 あ。そなのね◆

百合 人間なら、教えて。これは、人間の世界

ではなんというの？◆

雛菊 これは…ハンガー◆っていいいます

百合 これが…！ハンガー◆…この宝石

は知ってる？

雛菊 これは。…あー、これは、氷砂糖です

ね◆もうすぐ溶けてなくなりますね

百合 これが…！氷砂糖…！◆溶けてな

くなる…◆

雛菊 じゃ。あっしはこれで

[白痴をわらうか]

百合 待って ◆

雛菊 え？

百合 人間のお話をして ◆

雛菊 人間の。お話。ですか。

百合 あなたの住んでいる場所で、一番きれいだった景色は何？

雛菊 ……んー。ありがちだけど、まあ、ニューヨークのビル街？ ◆

百合 どんなものなの？

雛菊 それはもう大きな、おーーーきな、たくさんの墓石^{はかいし} ◆の間をくぐり抜けてる気分になる ◆

百合 ……すてき ◆

雛菊 え。まあそんな素敵なものでも。

百合 私あなたと結婚したいの ◆

雛菊 え。わーやったあ ◆

百合 パピ！ ◆

雛菊 あ、お父さんどうも

百合 この人が私の最愛の人。

雛菊 娘さんを僕にください ◆

百合 あかんで

雛菊 ◆えでへええ？だめなんすかあ？

百合 お前人間だろう

雛菊 え。あ。はい◆

百合 お前らが海に流していく毒の◆水でい
まこの瞬間も我々の仲間が◆死んでいる

◆

雛菊 はい

百合 お前らがむやみに殺す魚は◆大多数が
食べられもしないで◆そのまま土に埋め
られる。海で生まれて土で死ぬ気持ち

わかるか◆

雛菊 わかんないっす◆

百合 それがわかるまでこの家の敷居を◆泳
ぐな◆カーツ◆

雛菊 こうして私は、思いを遂げることでもでき
ないまま、ウカウカと遊んでいる間に
闇雲に歳を取り◆宝島を抜けて、トビウ
オのアーチも抜けて、カクレクマノミを
蹴散らし◆マグロにぶつかり、謝り、ワ

カメに絡まり、青いフィルターをぶち破り ◆ここは、砂浜。

百合 もうすぐ潮が満ちる。波が私をさらっていく。そうすると

雛菊 ずっと一緒にいて。ここが海の中になつても、ずっと。一緒に ◆

百合 そうしたかった

雛菊 雪が降ってきた ◆

百合 雪なんて見えません。

雛菊 音が聞こえる ◆

百合 聞こえません ◆

雛菊 雪が降り積もって波をなくしてしまえ

ばいいのに ◆

百合 悲しくなったら雪の音を思い出して。そうすると、しあわせが、音を立ててここにやってくる

雛菊 と。思っていたら ◆雪はどんどんどんどん降り積もって

百合 え？ ◆

雛菊 ところかわって、ここは ◆雪の国 ◆

[白痴をわらうか]

百合 ようこそ◆

雛菊 え。あなたはだれ？

百合 私、雪の精霊よ◆

雛菊 どこかでお会いしたことありませんか

百合 身に覚えがありません◆

雛菊 あれ◆おかしいなあ

百合 凍った湖の上を滑りましょう？◆

雛菊 おっけー◆

百合 いくよ。これがトリプルルッツ

雛菊 これがトリプルルッツ◆

百合 これがダブルループ。

雛菊 これがダブルループ◆

百合 これがトリプルサルコウ

雛菊 これがトリプルサルコウ◆

百合 うん。違う

雛菊 え。違うの◆

百合 今のだとトリプルフリップ、トリプル

ルッツ、トリプルトゥループ◆

雛菊 難しいのね

百合 いくよ。これがレイバックスピン

[白痴をわらうか]

雛菊 百合 雛菊 百合 雛菊 百合 雛菊 百合 雛菊 百合 雛菊 百合 雛菊 百合 雛菊 百合 雛菊

雛菊 出会う

百合 そう。こうやって。出会う

雛菊 そう

百合 きる唯一のスポーツなんだよ

雛菊 そう。相手と自分を近づけることがで

百合 こう？

雛菊 そう

百合 ないよ。ほら。こうして

雛菊 こう？ ◆

百合 そんなジャンプばかりやってはいけ

雛菊 難しいのね ◆

百合 アクセルトリプルトゥループ

雛菊 今のだとトリプルアクセルトリプル

百合 え。違うの ◆

雛菊 うん。違う

百合 これがイーグル ◆

雛菊 これがイーグル

百合 これがビールマンズピン ◆

雛菊 これがビールマンズピン。

百合 これがレイバックスピン ◆

[白痴をわらうか]

百合 記憶をなぞる

雛菊 記憶をなぞる

百合 踏み出す

雛菊 踏み出す

百合 かたむけて ◆

雛菊 かたむけて ◆

百合 かたむけて ◆

雛菊 星みたいに周りをぐるぐる。あとは見
つめて待つだけ ◆

雛菊 星みたいに周りをぐるぐる ◆あとは
見つめて待つだけ

百合 簡単でしょ？ ◆

雛菊 難しいや

百合 あーあー。シャーシャー削りながら滑
るから ◆削られた氷がこんなに積もり
積もって

雛菊 ……って思ってたら？ ◆

二人 あれ ◆？

雛菊 砂漠になっちゃった ◆

百合 ようこそ

雛菊 え。あなたはだれ？ ◆

百合 私はジーニー◆

雛菊 どこかでお会いしたことはありません

か？

百合 ない◆

雛菊 すごいですね、砂ボコリが。ああ◆

百合 ああこりゃジーニー◆にも辛い環境だ

電話が鳴る

雛菊が電話を取る

雛菊がしばし電話の音を聞こうとする。

聞こえない

雛菊が地団駄を踏む◆

百合 なんか

雛菊 みてください

百合 なんか聞こえたの？

雛菊 みてください

百合 ねえ、なんか聞こえたの？

雛菊 ◆みてください、砂漠。砂漠。砂漠。昼

の青と夕日の赤と夜の紺色が混ざり合っ

た空が、砂漠を染めている◆遠くでラク
ダがゆらゆらと歩いていて、もっと遠く
では楽団が音楽を鳴らしてる。
百合 ……願いを叶えよう? ◆
雛菊 願い? ◆
百合 願い事を言っごらん? ◆
雛菊 この砂を全部ガラス◆に変えてくださ
い
百合 それは難しい◆
雛菊 え。どうして
百合 少しの光でも砂が乱反射を繰り返して
眩しくなっちゃうじゃないか◆
雛菊 え。いいからやっごうだい
百合 わがままなやつだな◆そら
雛菊 わあ。眩しい◆
百合 小さな星明かりでも、砂が光の乱反射
を繰り返している◆
雛菊 楽団◆の音楽が大きくなった
百合 お気楽な音楽に合わせて砂が踊って
る◆

雛菊

あれまゝ◆あれまゝ◆あれまゝ◆あれまゝ◆あれまゝ◆あれまゝ◆あれまゝ◆あれまゝ◆あれまゝ◆あれまゝ◆

雛菊

はあ満足。元に戻してください◆

百合

それはできないよ◆

雛菊

え。簡単にできたんだから簡単に戻せるんじゃないの◆

百合

一度服に垂らしたボクジュウはもうスズリには戻らないだろう？◆

雛菊

砂漠に住む人の全員が◆私にカンカ
ンで、私を袋叩きにしようとしていま
す◆

百合

彼を袋叩きにしても問題は解決し
ませんよ◆

雛菊

でも気分がスカッとはする◆
助けてあげたいのに◆

雛菊

と書いていたら◆ここは社交ダンス
の大会◆

百合

ようこそ
あなたは

雛菊

百合 私ワルツが得意な社交ダンサー◆

雛菊 どこかでお会いしたことがあります

◆

百合 いいえ◆

雛菊 いえ、そんなことない。私とあなたは

遠い遠い昔に結婚の約束をしました

百合 え◆

雛菊 あなたは人魚人で◆私は人間◆生ま

れ変わり続けながらあなたを探してい

ました◆

百合 あら素敵◆

雛菊 シヤルウイダンス？◆

百合 シヤル◆

踊る◆触らないダンス。

雛菊 ……◆

百合 どうしたの？◆

雛菊 あなたに触りたいのに、あなたの事が

もう思い出せない。

百合

え？

雛菊

怖いくらい忘れてるの。あなた匂いや

仕草や全部を。

百合

今からもう一回知ればいいよ

雛菊

そんなのおかしいでしょって言って

笑って触って欲しいのに、君は来ない。

百合

いるじゃないの、目の前に

雛菊

…。

百合

…え。あ◆

雛菊

と思っていたら？

土。空。レンガでできた家が街を作り

上げて、その隙間を埋めるように生い

茂る、紅葉。

百合

え。あ。

雛菊

ここは、空気の美味しい、息苦しい、

枯れ木の匂いのする、終りかけの街。

街に100年に一度の神輿が来てる

ってよ◆担ぐべ。おーまつりわっしよ

いおーまつりわっしよ◆

百合

おまつ◆

雛菊

そうしてずーっと神輿を担いでいる

◆神社に到着。焼酎を飲み過ぎたおっさんが酒を勧めてくる。このおっさんと話すのは嫌だ◆「若い女のそんな悩み小さい小さい」自分の悩みから遠くなればなるほど小さく見えるだけだ◆

こんなに他人に敬意を払えない人間になるのは嫌だ◆そうなるかもしれない。怖い◆しがらみから抜け出すように奥の境内に行こうと通路を走った◆

◆ここはダンスフロア◆最新鋭のレーザー式の照明が暗い場所◆と眩しい場所を交互に作り出している。今日は年に一度のハロウィーンの日◆

◆音楽が好きでもないのに◆ただ騒ぎたくて来ているゾンビ達のせいで音楽が聞こえない◆汗臭い◆知らないやつにスピリタスを飲まされて◆吐きそうだ。トイレに駆け込むと血だらけの天

使たちがつかみ合いのケンカ◆をして
いる

と思っていたら？

ここは、荒野◆サバンナ◆アマゾン。
わからないけど野生の王国◆百獣の王
ライオンの群れの目の前。今日は謝肉

祭の前日◆

謝肉祭のメインとしてライオンのたて
がみを飾ることになった。祭りのメン
バーでいじめられていた私は◆死んで
も構わないから◆とライオンのたてが
みを取ってくる役目になった◆死にた
い◆いっそ噛み殺してくれないか◆あ
いつらに殺されるくらいなら◆こいつ
に

と思っていたら？

ここは、幼稚園◆年に一度のお遊戯会。
お遊戯会ではちよつとした演劇をする。
演目は政治家の演説◆政治家は殺人事
件の話をする。政治家は正当防衛の話

百合
雛菊

をする◆正当防衛を正当化する。正当化された正当防衛は個人の話から国の話になる◆これが、すり替え。たった5個のすり替えで、どんなこともその人の都合のいいようにすり替えられるよ◆幼稚園児のころからそんなことを刷り込まれるのかと子供ながらに思っていたら？

ここは、マグロ漁船◆マグロが捕れない。とれるのはイサキ、カツオ、メバル、チョウチンアンコウ◆アジ◆カレイ、たくさんのアジ。雑魚はもういない。マグロが捕れないと家に帰れない◆

と思っていたら

ここは◆宝石の国◆ビーズでできた王

国◆ぶどう畑◆

だめ◆つままない！

……たのしかったよ？◆

……おかしいね◆

百合 なにが◆

雛菊 ……これが◆こういうことが。好きな
のに。今好きになれなくて。普段のキ
モいものばかり手元に残る。

百合 ……。

雛菊 ……これからのものすっつごく楽しい
ことが待ってるはずなのに◆いまはど
うして

百合 暗いの禁止。

雛菊 ……んー？◆

百合 だっていま。楽しいが。死んだぞ。

雛菊 ◆楽しいって死ぬの？

百合 だって死んだ◆せっかく作ったのに作
り直しだ。

雛菊 ……そう◆

百合 何かしないと。楽しいは生き物だから◆

雛菊 うん◆

百合 暗いこと考えるから暗くなるのさ◆楽
しいこと探そう？

雛菊 でもさ◆

百合 レーッツ。

雛菊 ……

百合 レーッツ。

雛菊 ……

百合 レーッツ。

雛菊 ……

百合 レーッツ ◆

雛菊 ……パーティーい ◆

百合 はい。ここに寝る？

雛菊 ……。

百合と雛菊は寝転がる。

百合 ここはオレンジジュースのなか ◆

雛菊 ……んー？

百合 イソギンチャクだらけジュースの中で

◆カクレクマノミが ◆大群で泳いでる。

目を上に向けるとピンク。どピンク。サ

ーモンピンクのサーモンがダンジリみた

いにぶつかってる ◆サメがいろんな魚を

食べてる◆その魚たちの祝福の中にいる
のが、きみ◆きみ。鰻◆なう◆

雛菊 うん◆

百合 散歩だ。なにかをくぐって◆

雛菊 ∴散歩しはじめた◆くぐった。

百合 ∴宝島に。ついたようこそ◆

雛菊 どなた?◆

百合 私は半魚人◆

雛菊 こんにちはあ◆

百合 こちらへどうぞ◆

雛菊 はいー

百合 ここでは私のコレクションが飾られて
いるのあんな上まで刀なの?◆届かない
じゃないのって思うでしょ?◆泳げば
いいのよ?ほーら◆ほらほら。

雛菊 そっか。そうね◆

百合 あなた鰻?◆

雛菊 はい

百合 鰻、初めて◆

雛菊 はじめてなのかあ

百合 鰻なら、教えて◆これは、鰻の世界では
百合 なんといいの？◆
雛菊 ……わかんない、なんだろう
百合 鰻にもわからない◆…素敵◆
雛菊 じゃーね
百合 待って鰻のお話をして◆
雛菊 人間の。お話。ですか。
百合 この世で2番目に好きな人は誰？
雛菊 ……君以外◆
百合 ……すてき◆
雛菊 すてき◆
百合 私あなたと結婚したいの◆
雛菊 すてき
百合 ブラザーこの人が私の最愛の人◆
雛菊 妹さんを僕にください。
百合 あかん◆
雛菊 どうして？
百合 お前鰻だろう◆
雛菊 はい
百合 お前らがジュースに◆流していく泥

の水でいまこの瞬間も我々のシーラカ
ンスが死んでいる◆

雛菊 はい

百合 お前らがむやみに殺すシーラカンス
◆は、大多数が食べられもしないでそ
のまま土に埋められる◆ジュースで生
まれて土で死ぬ気持ちがわかるか◆

雛菊 わかんない

百合 それがわかるまでこの家の敷居◆を泳
ぐなカーツ◆こうして私たちは、なんや
かんやあって、エベレストにたどりつい
た。もうすぐ山が燃える◆山が私をさら
っていく。そうすると

雛菊 いなくなる

百合 そんなの◆いや

雛菊 いなくなったら目の前にもういない。
そしたらもう死んだ人と同じ。

百合 ◆悲しくなったら火山灰かざんばいの音を思い
出して◆そうすると、しあわせが◆音
を立ててここにやってくる

[白痴をわらうか]

雛菊

なのに忘れることができない。

百合

と◆思っていたら◆火山灰はかざんばいどんだん

どんだん降り積もって◆ところかわつ

て、ここは◆名古屋ようこそ

雛菊

あなたはだれ？

百合

私は私◆スケートリンクの上を滑りま

しょう？◆

雛菊

おっけー

突然フィギアはちゃんと体でやる。

百合

いくよ。これがトリプルルッツ◆

雛菊

これがトリプルルッツ

百合

これがダブルループ。◆

雛菊

これがダブルループ

百合

これがトリプルサルコウ◆

雛菊

これがトリプルサルコウ

百合

うん。違う◆

雛菊

え。違うの。

百合

今のだとトリプルアクセルトリプル

[白痴をわらうか]

雛菊

アクセルトリップルアクセル

そっか

百合

いくよ。これがキャメルスピン

雛菊

これがキャメルスピン

百合

これがレイバックスピン。

雛菊

これがレイバックスピン

百合

これがイーグル

雛菊

これがイーグル

百合

うん。違う◆

雛菊

違うの。

百合

今のだとトリプルアクセルトリプル

雛菊

アクセルトリップルトウーループ

百合

そっか

百合

そんなジャンプばかりやってはいけ

雛菊

ないよ◆ほら。こうして

雛菊

こう？

百合

そう◆

雛菊

こう？

百合

そう。相手と自分を近づけることがで

きる唯一のスポーツなんだよ

雛菊

そう

百合

そう ◆ こうやって。出会う

雛菊

出会う

百合

記憶をなぞる

雛菊

記憶をなぞる

百合

踏み出す ◆

雛菊

踏み出す

百合

かたむけて ◆

雛菊

かたむけて

百合

星みたいに周りをぐるぐる ◆あとは

雛菊

見つめて待っだけ

星みたいに周りをぐるぐる。あとは見

つめて待っだけ

雛菊が突然寝転がる

百合 え◆なに寝てんの

雛菊 だって◆もう虚しくて！

百合 ふざけんなー？◆こっちがこんなに

やっであげてんのに◆

雛菊 ふざけてないわなー◆

百合 参加しない奴がいるから祭りは楽し

くなくなるんだぞ。

雛菊 だってー◆もう疲れたの。

百合 立て立て立て立って◆お願い◆

雛菊 でももう立とうって思えないの◆

百合 やる気出してよ。君を楽しくさせない

といけない私は◆どうすればいいの？

雛菊 あー。

百合 ねえパーティーするんでしょ◆

雛菊 これはパーティーじゃないもん

百合 やめてー？◆

雛菊 だってこんなの、絵に描いた餅と同じ

◆虚しい◆

百合 そんなことない◆

雛菊 チョコレートもない。

百合 あるよ◆

雛菊 ハート型のプールもない。

百合 ある◆

雛菊 ジャステインビーバーもない

百合 いるよ◆

雛菊 ユニコーンのぬいぐるみもない。

百合 ある◆

雛菊 キャンデイの山もない。天王星と海

王星と冥王星もない

百合 ある

雛菊 空中庭園もパリもモンサンミッシェ

ルもマイアミも

百合 ある

雛菊 好きな人はここではできない。こんな

いかにも女が好きそうな、ありがちな、

ゴミカス◆に囲まれてるだけの場所で。

…こんなことが言いたいんじゃない

のに

百合 ネガティブ禁止

雛菊 は？

百合 笑って。笑ってる間に楽しくなるから。

そうしたら楽しいは本物になる。これからパーティーだ

雛菊 ……そうね ◆

百合 また作り直さなきゃ。楽しいは生き物

なんだよ？ ◆

百合は雛菊の手を取り立たせようとする。

雛菊立たない。

百合 ね。

雛菊 ……また上部だけ取り繕うの？

百合 ……いや

雛菊 私は私が好きな量と同じに人が私のこと好きじゃないのが嫌だ。私の大事にしてることを軽く扱う人が嫌だ。でも

これは私だけなんでしょう？

百合 その話、前もしてたけどさ

雛菊 ……は？

百合

え。

雛菊

同じ話くらいするだろ、生きてるんだから。同じ話するのは、それが私にとつて大事だからだ。……え、お前ごときしかいないのに何でそんなことに気にしないといけないの？

百合

それはごめん

雛菊

◆面白い。こんなに分かり合えてないのにどうして君は、好き◆なんて簡単に思えるんだろう◆

百合

……あのさ

雛菊

ああ、わかった。これからこの場所が楽しくなることは未来永劫ない◆1
0年後にも思い出したくなる時間にはここはならない。

百合

早く立って。

雛菊

なんで？

百合

立てよ。立て。

雛菊

やだ。

百合

殺すぞ

[白痴をわらうか]

雛菊 …… ああ、そうする

百合 は？

雛菊 私。死ぬことにした◆うん。死ぬ。

いま。死んだの。ころされた。

だから、泣いて悼^{いた}んで焼いて埋めて忘れて放っておいて。死んだからもう話しかけないでいいの◆このままずっとここにいる。本物のパーティを待つ。だってそれしか今できることはないから◆

百合 はあー？ねえ。空気読んでよ。ねえ

雛菊 もういい。

百合 起きてよ

雛菊 もういいんだってば、君はどっかいていいの。

百合 ねえ、ねえってば。おきてってば

百合 ……

雛菊 ……

雛菊寝転がる。

百合 ……ねえ。

雛菊 ……。

百合 なんかしした？◆

雛菊 ……。

百合 なんかししたなら謝るから。あそぼ。嫌
なところは直すから。

雛菊 ……。

百合 ……今がもう楽しくないから起きな
いの？◆

雛菊 ……。

百合 ……ねえ。

百合体うつむいている。

体がちぎれるほど力の入った体。

百合 ……あーあ。

百合の体から力が抜ける。

[白痴をわらうか]

百合

紙を書くから。そしたら起きてね
楽しくするから。夢を叶えるから。手

百合は深呼吸をし、高く飛んで大きい音を立てて着地をする。

百合

さあ。

やってきました◆

…ここは◆文化祭。全部の夢が叶う

場所◆

うるさい軽音部の鳴らすのはもちろん。世界の終わり◆

世界の終わりが始まったら◆僕は君を

探す◆そういう決まりだから◆君はど

こにいるんでしょーか◆クイズ◆走れ。

1年生の教室？ ABCDEF いない◆2年

生の教室？ ABCDEF こんなところにいる

はずもないのに◆3年生の教室、には

いるわけがないから、視聴覚室理科室

更衣室とたくさんのお化け屋敷、喫茶

店、焼うどん◆部室部室部室部室のな

かを垣間見て、渡り廊下には紅葉が覆

いかぶさってるけど今は無視◆さあ、
やってきたのはもちろん。体育館◆
体育館はお気楽な歌に包まれて、風船
が飛んで電飾が光って、スパンコール
が壁を飾り、チアリーダー部が君
のために踊り狂う。野球部のキャッチ
ボールもサッカー部のリフティングも
バスケットボール部のスリーポイント
シュートもちろん君のため◆
ステージの上には、脚光を浴びて倒れ
る、君◆体は大丈夫か、なんて思う必
要はない◆不安の特効薬は笑顔◆思い
やり◆わかりあう気持ち◆明るくいれ
ば幸せ◆不安にならなければつまらな
くもならない◆その思い出は輝きつづ
けるだから笑う◆笑ってれば楽しくな
る。楽しくなれば満たされて、満たさ
れたらそれが充実◆
世の中は幸せに満ちてるよ◆自分の意
見を語ると意識が高い◆サブカルキモ

オタは知識人と呼ばれるようになって
◆ムカつく金持ちは地に落ちて◆美人
が年をとっても「お綺麗ですね」のシ
ュプレヒコールが鳴り止まなくて◆パ
クリはオマージュと同じにされて◆税
金泥棒は公務員になった◆メンヘラは
哲学者と呼ばれて◆そのどれでもない
奴が一番偉い身分になった◆その名前
は、ふつう◆
普通の君が今、音を立てて輝いてる◆
きいていますか。私は君に薬を持って
きました。君のその眠気は、暗い気持
ちは、すべてこの薬で治るのです。さ
あ、お飲みなさい◆そうすれば天使が
あなたに祝福をもたらすだろう◆
さあ◆
さあ。
さあ◆
のまないの？……というところで物語
は急展開！ドン◆と体育館が沈む◆

体育館も地盤沈下には勝てない◆沈んでいく体育館、逃げていくチア部、サッカー部、バスケット部、野球部、小さな魚たち。稚魚たち。雑魚たち。雑魚は早くいなくなれ◆残るは君だけ◆
体育館は地盤の沈下をし続けて宇宙にももうすぐ届きそう。いかないで、ここにいて。

◆
君は魔女に呪いで女子高生にされたけどもとは荒野をかけるライオンだった
◆
呪いが解けないから、私たちは友達でいるしかない◆君の声が聞きたい。かみ殺したい。君の声を聞かせて？そうすれば君を食べられるのに◆

闘争本能のなかで私の記憶が具現化して、本物になった◆私はタテガミをむしり取られたライオンになった、君は、折れた月桂樹になった◆動けない君はそうやって寝ているしかない◆

ここは、ベトベトのマイクの前。私は
大衆の前で、君への愛を語る、君の苦
しみを語る。君の愚かさを語る◆君は
幸せになりたいというけど、大丈夫、
自由と幸福は突然空から降ってくる◆
人はなんでも与えてくれる、自分以外
が自分の幸せを運んでくれる。そんな
ところで寝ているだけの君にも、待つ
ているだけの君にもそれ相応の幸せが
やってくる◆
だから大丈夫。私に任せてくれればい
いよ◆言葉には力があるから◆魔法が
あるから◆君のためならどこにも行け
る。どこにする？海。宇宙。惑星。土、
水、哲学、色彩、桃色、読者モデル、
音楽業界◆お好きなものを選んでね。
君をどこにでも連れて行くためにこの
手は、足は、耳は、目は、体は、ピン
ク色の血でベタベタになってしまった
◆触るところ全てがベタついてとれな

い◆走って落とさないと◆これじゃ君
を触れないから◆

君に触りたいから◆君が愛しいから、
君になりたいから、僕は僕の限界を超
えて君になる◆走る◆走れ◆

と走っていたら。あらびつくり◆

君のずっと待っていたパーティー会場が
もう目の前◆

近づいて？ち。か。づいた◆

パーティー会場は豪華絢爛素敵桃色世界
◆そこは君の大好きなものにあふれて
いた◆これは君の大好きなチョコレート
トのプール◆隣には君の大好きなジャ
スティンバー◆これは君の大好き
なユニコーンのぬいぐるみ◆あれは君
の好きなキャンディとキャンディとキ
ヤンデイ◆その間には君の好きな天王
星海王星冥王星◆空中庭園には君の大
好きなパリの街並みとモンサンミッシ
ェルの夕焼けとマイアミのネオン◆君

の好きなものであふれたこのおーー
ーきな会場のなかで、いい匂いのする毛
布にくるまって寝そべってるのは、もち
ろん、君 ◆
君が起きたら歌を歌う合図 ◆練習 ◆

百合はお祝いの歌を歌う ◆

百合 ……。

百合は雛菊のどこかを押す。

百合 ねえ聞こえていますか ◆無視していま

すか ◆どっちでもいいんだけど、いま秘
密のボタンをもう一度押しました。これ
は最後のボタン。大事なことが抜け落ち
ていくよ。この声ももう思い出せない。
嘘だと思うでしょう？ どうだろうね？ 大
事なことを忘れる前に、この気持ちをお
伝えします ◆大事なことなら忘れてい

よ、忘れてるといいです◆

前置きはこれまでにして。私。君が好きだ。なんでかはもう忘れた。君が好きすぎて嫌いだ◆君のことが好きな君が嫌いだ◆死ねばいい◆と思ったら君は死んだ◆君は私を好きじゃない◆でもそれでいい◆好きじゃなくても、生きていなくても、好きだ◆ずっと◆好きって気持ちだけはこのにずっとあり続ける◆それは呪いのように歯車のように何気なくつぶやく歌のように君にまとりつくだろう◆
◆
あぁ（虚しくて死にそう）楽しいかった

百合。倒れる。死ぬ。

電話の音。3コール以上鳴る。

雛菊 ……んー

雛菊が電話を聞きもしないで切る。

寝ていた二人。目を開ける。

微笑みあう。

雛菊 ……◆

百合 ◆

二人 ……ところかわって◆

雛菊 ……ここどこだ？◆

百合 ……んーんー◆

雛菊 わかんなくなってしまうた？

百合 ……電話◆

雛菊 ……電話？これ？

百合 ……電話が関係あった気がする。

雛菊 ……わかんない。そーな気がする！

百合 ……ね。

雛菊 あらよっと ◆

雛菊は電話の前に座る

百合、雛菊の隣に座る。

雛菊 ね

百合 なあに

雛菊 夜になったらね ◆

百合 夜になったら？

雛菊 夜になったらおやすみって言ってね

百合 朝になったら？

雛菊 キャラメルリボン ◆とロッキード ◆

とジャモカフアツジ ◆って言って ◆

百合 サーティワン好きなの？

雛菊 うん、嬉しくなる ◆

百合 ね。

雛菊 ん？

百合 じっとしてて退屈じゃろ？ ◆

雛菊 そりゃ、退屈だけど。待ってってそういう

ものじゃないか？ ◆

[白痴をわらうか]

百合 ……うーん。

百合は電話の受話器を外し、どこかに置く

雛菊 あ。

百合 物欲しげにこうやって待ってるのって、縛られてるみたいで嫌じゃない？◆

雛菊 ……でも。わかんない。

百合 んー？

雛菊 待っていないといけない気がするの

百合 どうして？◆

雛菊 待っててって言われた気がするの

百合 いつ？

雛菊 いつって？

百合 今言われたんじゃないなら、それは言われてないかもしれない。

雛菊 でも。言われてたらさ。

百合 そしたらやりなおしたらいい◆

雛菊 ……でも

百合 やり直せない事なんてこの世にはない

よ

雛菊 …… ◆

百合 ね。

雛菊 …… それもそうかも ◆

百合 いこ。

雛菊 うん ◆

百合、雛菊、立ち去るのか、そのまま待ち続

けているのかわからないまま